

2日目の報告となります。

今日は8:30にUNITYに集合でしたが、皆元気に学校に登校してきました。「昨日はどうだった？」というのが挨拶代わりとなり、昨日帰宅してからのホストファミリーの話で盛り上がっていました。今朝の様子は特に大きな体調不良の生徒はいないようでしたが昨日の数名の日記からは、頭痛、腹痛、鼻血などがあつたと記入されており、おそらく睡眠不足や時差ぼけ、疲れ、環境の変化によるものの症状が大きいのと思われます。また、ホストファミリーが気遣ってくれて昨日は早く寝るようにと声をかけてくれたお家も多かったようです。

バスに乗る前に今回お世話になるヘッドコーディネーターのメリッサを紹介しました。まだ若く可愛らしいコーディネーターですが、GPIのプログラムにずっと携わってきている彼女は、とても意欲にあふれており、生徒たちに会うのがとても楽しみだったようです。生徒からも彼女に声をかけやすいようで、生徒はコーディネーターメリッサとの会話も楽しんでいる様子が見受けられました。またGPIでオーガナイズをしているバディも今日は2人来てくれました。クリスとエリカです。積極的に生徒に声をかけていました。来週の英語の授業からはバディが10人以上に増え、英語の先生と3人と共に生徒達の英語の授業のケア、アクティビティ等のお手伝いを行います。

さて、朝の渋滞に巻き込まれて遅くなった生徒もいたので、出発は少し遅れましたが、バスは **langley secondary school** へと向け出発です。黄色のスクールバスと書かれたバスに乗ること約50分。現地ではGPIの女性スタッフ鈴木さんが笑顔で迎えてくれました。

到着後、現地学生を目の当たりにして、生徒たちは「ついに来た」という実感がわいてきたようで、ちょっとした緊張感が伝わってきました。1階の奥にある大きな図書室にて現地生徒との交流が行われました。この場を仕切って下さる、現地校で日本語を教えているリチャード先生。優しく生徒を迎え入れてくれました。生徒たちはプレゼンテーションの班毎に座り、そこに16歳～18歳の15人程の現地校の生徒たちも加わりました。ウェルカムセレモニーにてプレゼントとして学校の名前が入ったウォーターボトルやストラップなどを頂きました。

そのあとは早速グループ毎に学校のキャンパスツアーです。現地生徒が案内しながら体育館や教室、校庭などを周りその場所をバックに証拠写真を撮ってくるのですが、全員集まってからスクリーンにその写真を映しだし、どこの班が一番良い写真が撮れたかということで賞を決めるという内容でした。現地校生徒とコミュニケーションをはかるというのが狙いだそうです。楽しそうに図書室に戻ってきた生徒たちは、大きなスクリーンに映し出された写真みて笑いながら現地校生と楽しんでいるようでした。現地の先生方数名が集まって審査員としてどのグループの写真が良かったかと相談をした結果、UBCで発表をする5班の新井君たちのグループと8班の大芦さんのグループに決定です。リチャード先生からミニドーナッツを頂いていました。

そのあとは11時頃の早めのランチです。あと2日で春休みに入るため学校の授業などもこの2日間あたりは授業の内容や時間が不規則になるようです。

初日のランチの時間は楽しみのひとつでもあります。生徒たちがランチボックスを手にして、おそろお

そるあける瞬間。お互いに覗きあう瞬間。どんな物が入っていてどんな味がするのか、日本のお弁当との違い。ほとんどの生徒がサンドイッチ、丸ごとのりんごやバナナなどのフルーツ、そしてスナック菓子を食べていました。中には、サラダや切ったニンジンやセロリがそのまま入っている生徒もいました。君塚君からは、どこでリンゴを洗うことができますか？と聞かれました。こちらの人はそのままガブッと丸かじりすると伝えるとびっくりしていました。食文化の違いの発見の時間です。

さて、午後はいよいよプレゼンテーションの時間です。前半・後半と分かれ、現地校で日本語を習っているという生徒たちの前でのプレゼンテーションです。前半は1－4で、その前半の流れの司会を安生君、後半は5－8で司会是新井君が進めてくれました。二人とも急な司会要請にも関わらず落ち着いて司会をしてくれました。そして何より、どの班もすばらしいスピーチでとても印象に残っています。一人一人がはっきりと大きな声で英語で話し、また「地域の活性化、地域とスポーツのつながり、放課後学習の現状とこれから」などなどの興味深い内容ばかりでした。現地校生も先生も真剣に聞き、各班のプレゼンテーション後に多くの質問がとびかかっていました。とても良いプレゼンテーションでした。生徒たちも相当日本で練習したのだということが伝わってきました。G P I の鈴木さんから、そっと私の耳元で、今まで見たスピーチの中で三本指に入るとお褒めの言葉を頂き、私までとても嬉しくなりました。(帰りのバスで生徒に伝えました)

残った時間で、お互いの自己紹介や質問などを行い、最後のコミュニケーションを取った後、「ありがとう、また明日！」と、お別れを言いバスに乗り込み、14時に現地校を出発しました。

行きと同じように、体調確認、明日の確認などを行い、ユニティの学校へとスクールバスで戻りました。その帰りのバスは、生徒たちの緊張がとけたからか、時差ボケと外からの温かい日差しのせいか、心地良い時間が続き、ずっと眠りにはいる生徒も多かったです。

今日は1日とても天候が良く、また良い内容でスタートがきれてよかったと思います。

明日も生徒の体調を確認しながらベストな状態で1日が過ごせますよう、しっかりサポートしていきたいと思います。

以上が報告となります。

宜しく願い致します。

アイエスエイ

添乗員 原田





